

ぶうげんびりあ3月

2022年3月号 No.273

<https://ainohamajiaikai-k.or.jp/>

編集・発行 障害者支援施設 愛の浜園
奄美市名瀬大字知名瀬2504
TEL:54-8011 FAX:54-8012

No.1



冬も終盤に差し掛かり、今年度も残り一ヶ月となりました。思い返すと今年度も「新型コロナウイルス」という脅威に備え続ける一年となりましたが、幸いにも利用者さんへの感染も無く無事に過ごす事ができています。これからいつ終息するのか、不安はなかなか拭えませんが、ウイルスという目に見えない脅威に備えつつ、日々の支援に取り組んでいきたいと思ひます。(副主任:田畑)

3月行事予定表

- 1日(火): 体重・血圧測定
歳の祝い者記念撮影
- 2日(水): コロナ予防接種
- 9日(水): 健康相談
- 15日(火): 音楽の日
- 16日(水): 防災訓練

寅年合同年の祝い



今年はコロナ禍の為、盛大な会を開催出来ず記念撮影のみの祝いとなりました。写真撮影も何度か延期になり、出来るのか不安になる事もありましたが、3月1日に無事、行う事が出来ました。利用者7名、職員6名の計13名の皆さんが、それぞれ赤いちゃんちゃんこやスーツ、ワンピースなどの綺麗な衣装をまとい、お化粧をして笑顔でポーズを決めていました。コロナ禍で様々な行事が中止になる中、楽しそうに写真撮影に参加し、皆さんのお祝いをする事ができ、利用者も職員も笑顔があふれる時間となりました。来年こそは、利用者全員で盛大な会が出来る事を願っています。園長、カメラマンありがとうございました。(記事:山岡)



栄 徹さん



岡山 いずみさん 満林 アツ子さん



ひな人形に願いを込めて...

2月中旬、ひな人形を講堂に飾りました。この時期、私だけの密かな恒例行事になっています。利用者の皆さんと素敵な春を迎えられるよう今年はいつも以上に丁寧に丁寧に…。この1月、2月と様々な事が起こりましたが、今、なんとか乗り越えようとしています。この時間は、利用者の皆さんと過ごす何気ない日常のありがたさを改めて感じた時期でもありました。自粛生活の中、皆さん窮屈な思いをされていますが、それでも笑い声があり、その姿を見ながら私たちが力をもらっています。愛の浜園は、利用者の皆さんひとりひとりの頑張りで、変わらないまったりとした時間が流れています。これからきっとたくさんの素敵な事が起こります。そう信じて、1日1日を大切にしていきたいものです。追伸:先日、愛の浜園にもツバメがやってきました。もう春ですね。(記事:屋園)



月間三賞受賞者

<努力賞>

- ・皆田 綾子さん…カラオケで新しい曲に挑戦し、練習に励んでいます。
- ・中田 茂代さん…洋服を片付ける際にハンガーを使用しきれいに整理することが出来ました。
- ・濱手 輝代さん…衣類を畳む際に丁寧に畳む事を心がけ取り組んでいます。
- ・栄 徹さん…他の方と一緒にドミノを取り組み楽しむ事ができました。
- ・橋田 忠治さん…職員や他利用者の頭を自分から触れるなど、自分なりのコミュニケーションを取り、仲良く過ごす事ができました。
- ・重村 朋哉さん…体調を崩す事無く、愛の浜園の生活介護を利用し頑張っています。
- ・定原 たず子さん…コロナ感染予防で、いつもと違う場所の食事でも落ち着いて食べる事が出来ました。
- ・竹田 美喜子さん…毎日花に水をあげることを忘れずに頑張っています。
- ・平山 和子さん…コロナ禍で自宅への外出が出来なくても、落ち着いて過ごす事ができました。

<努力賞>

- ・岩越 タツヨさん…箸(割り箸含め)を上手に持ち、小さな豆も掴んで食べる事ができています。

<親切賞>

- ・永田 三十六さん…一緒に生活する友達に衣類(防寒着)の声掛け、準備をしてくれました。
- ・生野 由子さん…就労日の港公園清掃時に他の方の手助けも率先してやってくれます。

<奉仕賞>

- ・勝山 道代さん…自分の部屋の掃除後、GHのリビングの掃き掃除やトイレのトイレトーパーの補充をしてくれました。
- ・政岡 りつ子さん、生野 由子さん…GH周りの草取りを行い、きれいにしてくれました。
- ・仁島 紀寿さん…1日数回ある空気の入れ替えの放送が流れると毎回積極的に窓を開けてくれています。
- ・森山 真智代さん、岡山 いずみさん、岩越 タツヨさん…女性棟の掲示板の飾り(桃の花の壁面等)を作ってくれました。



愛の浜園・自治会の紹介

愛の浜園自治会とは……

快適で生活しやすく出来るよう利用者さんが意見を出し合う場であり、職員は自立支援を目的にサポートを行っています。

～生活介護・施設入所での取り組み～

生活介護・施設入所では、2年に1度選挙を行い、会長・役員を選出し、利用者中心による自治会を行っています。週ごとに頑張る目標を決め、自分で頑張った事や、頑張っている利用者さんを推薦し毎月の三賞受賞へ繋げる。また、毎月誕生会を開き、誕生月の利用者さんを皆でお祝いしています。利用者さんはお菓子やジュースのプレゼントと誕生日カードのプレゼントを楽しみにしています。誕生会の後には、創作活動を行い色々な作品作りに取り組んでいます。利用者一人一人のスキルも違う為、絵を描いたり、ハサミを使ったり、のりを使ったりと出来る事はさまざまですが、担当ごとに分けてする事で、一人一人が楽しみながら創作出来るよう工夫しています。最後にはみんなで一つの作品を作る事ができ、毎回驚かされています。これからも、自治会を通し色々な要望を取り入れ利用者さんが日々楽しく生活が送れるようサポートしていきたいと思っています。(記事: 森山)



～グループホーム フレンドの自治会の取り組み～

フレンドでは毎月、世話人と支援員の全体会議の後に利用者(自治会)の話し合いをしています。話し合いの内容は、愛の浜園(GH)への要望を聞いたり、献立に加えて欲しいニュー、三賞の推薦、職員の全体会議で話に出た事を利用者にも伝えたり、GHでのルールの申し合わせ等を行っています。

例として、要望として意見があった事を上げますと、食事のメニューでは、「ジャワカレーが食べたい。」「ソーメンが食べたい。」「回鍋肉が食べたい。」他にも多数要望がありました。カレーはメニューにはありますが、コマーシャルで美味しく見えたのか、カレーの銘柄まで指定する事や、ソーメンも夏場はよく出していますが、上に錦糸卵やきゅうり等具がのっている為、ソーメンだけのものが食べたいという理由からでした。意見を言える方が多い為、色々な意見が出てきます。希望があったメニューは出来るだけ、献立に入れ、提供しています。その他では、「旅行に行きたい。」「フレンド全体での遠足に行きたい。」「フレンド専用の車が欲しい。」等です。

今はコロナ感染の為、外出も自粛中ですが、以前島外旅行、島内旅行と交互に毎年実施していた事もあり、またみんなで出掛けたいという希望が強いようです。予算を伴う事なのですぐにはできない事を説明し、また、皆さんからの意見は愛の浜園の職員会議でも報告し、できるだけ要望に答えられるように努めています。

三賞推薦では、たまに自薦する利用者もいますが、人の良い所を見つけようと話しています。ホーム周りの草取りをしたり、困っている人の手伝いをしたりと名前が上がり、多い人は年5～6回受賞しています。賞状とジュース引き換え券が貰え、受賞した利用者は嬉しそうに本館に来て好みのジュースと引き替えていきます。(記事: 福山)

シャボン玉とぼそ

3月に入ってすぐ気持ちの良い小春日和がありました。お天気がなかなか良くならない冬を感染症対策と共に乗り越えて久しぶりに日向ぼっこをしました。皆さんとても気持ちよさそうに日差しを浴びていました。日頃から時間があればぜひ活用したいと準備していたシャボン玉の出番です！何人かの利用者さんはとても上手で夢中になってシャボン玉を作っていたので、愛の浜園の中庭はその空間だけメルヘンの国のような感じでした。楽しそうにしている風景を見てどンドン人が集まってきて、出来なくてもチャレンジしてみる人、シャボン玉を眺めて歌ったり踊ったりする人でとても穏やかで楽しいひと時がありました。(記事: 牧口)



2月の愛の浜園



今年度の自治会作品紹介



〈お知らせ〉

これまで48年あまり愛の浜園をご利用いただきました、池田 ヨシエさんが、介護サービス利用に伴い3月4日に退所されました。これからもお元気でゆったり過ごされ、長生きされてください。



〈訃報〉

42年あまり本園をご利用されていた、叶 絹代さんは、病氣療養のため3月3日に退所されましたが、誠に残念ながら3月6日にご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

